

日本神経精神薬理学会第43回理事会（2009年度）議事録

日時：2009年3月24日（火）14:00～17:00

場所：八重洲倶楽部 第11会議室（東京）

出席者：米田幸雄(理事長)、池田和隆、石郷岡純、小山司、齋藤利和、曾良一郎、武田雅俊、仲田義啓、松田敏夫、山田清文、山本経之、吉岡充弘(以上理事)、加藤進昌(監事)、山脇成人(アドバイザー)

欠席者：大森哲郎、尾崎紀夫、武田弘志、野村総一郎(以上理事)、五味田裕(監事)

議事：

1. 前回理事会議事録の確認

米田理事長より前回理事会議事録が提示され、確認された。また、名誉会員推戴について、従来は推戴式等を実施していないが、今後は実施することで意見の一致をみた。名誉会員記についても作成していなかったが、作成し発送することとなった。

また、前回理事会後に開催された新理事会議事録についても提示され、確認された。

2. 各委員会報告（新委員会構成）

各委員長より委員会構成案が提示され、臨床・非臨床のバランス、委員の重複などが検討され、以下の通り決定された。

< 総務委員会 >

| | | |
|-----|-------|------------------------------------|
| 委員長 | 齋藤 利和 | 札幌医科大学医学部神経精神医学講座 |
| 委員 | 伊藤 芳久 | 日本大学薬学部薬理学教室 |
| | 佐藤 光源 | 東北福祉大学大学院精神医学 |
| | 鍋島 俊隆 | 名城大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻病態解析学コース薬品作用学研究室 |
| | 野村 靖幸 | 横浜薬科大学 |
| | 野元 正弘 | 愛媛大学大学院医学系研究科病態治療内科 |
| | 松田 敏夫 | 大阪大学大学院薬学研究科複合薬物動態学分野 |
| | 山脇 成人 | 広島大学大学院医歯薬学総合研究科（精神神経医科学） |
| | 吉岡 充弘 | 北海道大学大学院医学研究科神経薬理学 |
| | 米田 幸雄 | 金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室 |

< 財務委員会 >

| | | |
|-----|-------|----------------------------|
| 委員長 | 武田 弘志 | 国際医療福祉大学薬学部 |
| 委員 | 伊藤 芳久 | 日本大学薬学部薬理学教室 |
| | 大熊誠太郎 | 川崎医科大学薬理学教室 |
| | 加藤 進昌 | 昭和大学医学部精神医学教室 |
| | 亀井 千晃 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 |
| | 小山 司 | 北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野 |
| | 成田 年 | 星薬科大学薬品毒性学教室 |
| | 西川 徹 | 東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野 |
| | 松田 敏夫 | 大阪大学大学院薬学研究科複合薬物動態学分野 |
| | 山田 清文 | 名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部 |

油井 邦雄 芦屋大学大学院薬学研究所
米田 幸雄 金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室

< 学術賞選考委員会 >

委員長 山本 経之 長崎国際大学薬学部薬理学研究室
委員 大森 哲郎 徳島大学大学院医療情報研究部情報統合医学講座精神医学
小野 秀樹 名古屋市立大学大学院薬学研究科中枢神経機能薬理学
齋藤 利和 札幌医科大学医学部神経精神医学講座
佐藤 光源 東北福祉大学大学院精神医学
西川 徹 東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野
山田 勝士 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科薬物動態制御学分野
吉岡 充弘 北海道大学大学院医学研究科神経薬理学

< 長期計画委員会 >

委員長 小山 司 北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座精神医学分野
委員 石郷岡 純 東京女子医科大学医学部精神医学講座
稲田 俊也 財団法人神経研究所附属晴和病院
尾崎 紀夫 名古屋大学医学系研究科精神医学分野
野田 幸裕 名城大学薬学部医薬連携実習部門病態解析学
樋口 輝彦 国立精神・神経センター
山田 清文 名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部
山脇 成人 広島大学大学院医歯薬学総合研究科(精神神経医科学)
吉岡 充弘 北海道大学大学院医学研究科神経薬理学
米田 幸雄 金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室

< 倫理委員会 >

委員長 松田 敏夫 大阪大学大学院薬学研究科複合薬物動態学分野
委員 井上 猛 北海道大学医学部精神医学教室
大熊誠太郎 川崎医科大学薬理学教室
大野 行弘 大阪薬科大学薬品作用解析学研究室
小山 司 北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野
武田 雅俊 大阪大学大学院医学系研究科「¹25k¹」異常疾患(精神医学)分野

< 研究推進委員会 >

委員長 武田 雅俊 大阪大学大学院医学系研究科「¹25k¹」異常疾患(精神医学)分野
委員 尾崎 紀夫 名古屋大学医学系研究科精神医学分野
亀井 千晃 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
曾良 一郎 東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座精神・神経生物学分野
鍋島 俊隆 名城大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻病態解析学「¹25k¹」薬品作用学研究室
西川 徹 東京医科歯科大学大学院精神行動医科学分野

松田 敏夫 大阪大学大学院薬学研究科複合薬物動態学分野

また、編集委員会より、日本臨床精神神経薬理学会では学会誌がなく、代わりに E-Journal の発行を検討中なので、連携していきたいとの報告があった。

3 . JSNP / JSCP 合同委員会報告

米田理事長より昨年 9 月 30 日に開催された前回日本神経精神薬理学会 (NP) / 日本臨床精神神経薬理学会 (CNP) 合同委員会について以下の通り報告された。

1) AsCNP が発足し、役員が選出された。

日本からのメンバーは以下の通り (NP ・ CNP 双方より 3 名づつ、当て職とする)

樋口輝彦 (NP 理事長)、兼子直 (CNP 理事長)、山脇成人 (NP 今期大会長)

石郷岡純 (CNP 今期大会長)、米田幸雄 (NP 次期大会長)、大森哲郎 (CNP 次期大会長)

2) 次回合同年会および第 1 回 AsCNP 開催について

後述の通り、開催される。

3) 次々回合同年会について

後述の通り、準備されている。

4) CINP 2010 について

2010 年に香港で開催される CINP 2010 について、開催の成功のために日本としての協力が求められている。

5) 両学会の在り方について

今後とも、両学会の在り方、統合の可能性について継続的に検討・議論することで一致したことが報告された。

なお、次回合同委員会には、NP から米田理事長、小山長期計画委員長ほか 1 名が加わることとなった。他 1 名は臨床・非臨床のバランスなどを考慮して決める。

4 . 第 39 回年会準備状況報告

米田会長より、以下の通り報告された。

日時： 2009 年 11 月 13 日 (金) ~ 15 日 (日)

会場： 京都国際会館 (京都府)

会長： 米田 幸雄 (金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室)

第 19 回日本臨床精神神経薬理学会 (大森哲郎会長：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野) と合同開催

第 1 回アジア神経精神薬理学会 (山脇成人会長：広島大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経医科学) と同時開催

また、理事会などは前日の 11 月 12 日 (木) に行われる予定であること、精神科薬剤師に関する教育セミナーを開催すること、口頭発表を重視していることなどが報告された。

5 . 第 40 回年会準備状況報告

曾良次期会長より、以下の通り報告された。

日時： 2010 年 9 月 15 日 (水) ~ 17 日 (金)

会場： 仙台国際センター

会長： 曾良 一郎（東北大学大学院医学系研究科精神・神経生物学分野）

第 20 回日本臨床精神神経薬理学会（大谷浩一会長：山形大学大学院医学系研究科発達精神医学分野）と合同開催

6 . AsCNP に関する準備状況とお願い

山脇会長より、以下の通り報告された。

日時： 2009 年 11 月 13 日（金）～14 日（土）

会場： 京都国際会館（京都府）

会長： 山脇成人会長（広島大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経医科学）

第 39 回日本神経精神薬理学会（米田幸雄会長：金沢大学大学院自然科学研究科薬物学研究室）・第 19 回日本臨床精神神経薬理学会（大森哲郎会長：徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部精神医学分野）と同時開催

また、第 1 回目でもあり、アジアでのプレゼンスを高めるためにも、多くの演題が必要であるとして、協力が要請された。

7 . その他

1) 第 105 回日本精神神経学会学術総会におけるセッション企画について

関連学会の取り組みについて周知する企画があり、本学会としても参加することとなった。また、発表については、広報委員会の担当として吉岡広報委員長に一任することとなった。

2) 第 3 回精神科専門薬剤師セミナーの後援について

第 3 回精神科専門薬剤師セミナーの後援について依頼があったことが報告され、承認された。

3) 千葉県警からの問合せについて

齋藤総務委員長より、千葉県警からの薬品の影響に関する問い合わせがあったことが報告されたが、詳細情報については開示されておらず、一般的な見解を学会として回答することは差し支えるため、学会として意見を表明できないとの回答をすることとなった。

・ 審議事項

1 . 次々会長選出の件（2011 年）

米田理事長より、2011 年の次々期会長について、提議された。CNP との合同のことなどもあり、様々な意見があり、検討の結果、鈴木勉教授（星薬科大学）が推挙され、全会一致で承認された。鈴木教授の受託を待つこととなった。

2 . 新評議員推薦の件

齋藤総務委員長より、以下の通りの 3 名が推薦されていることが報告され、全員に評議員として委嘱することとなった。

山田 潤 横浜薬科大学臨床薬学科薬理学研究室

杉本 由美 横浜薬科大学臨床薬学科薬理学研究室

3. 新入会者承認の件

齋藤総務委員長より、昨年9月1日より本年3月19日までに68名の入会申込者があったことが報告され、全員が承認された。

また、今後の入会者増のために方策を検討すべきとの提案があり検討された。薬剤師の会員増を図るために、現在専門分野として臨床系と非臨床系の2つが選択可能であるが、臨床薬学系という新カテゴリーを設けることについて協議したが、時期尚早との意見もあって当面は様子を見ることとなった。また、評議員推薦が必要な入会方法や、学生会員の会員資格の設置などが提案され、総務委員会にて検討されることとなった。

4. その他

特になし。

以上